

2016 まちづくりアドバイザー活動事例集

【北 区】	(担当：西原 秀倫)
北区こどものまち.....	1
学区まちづくりビジョン.....	1
【上 京 区】	(担当：松井 朋子)
上京区まちづくり円卓会議拡大会議 上京！MOW	2
まちづくり活動パワーアップ講座による活動支援	2
【左 京 区】	(担当：大塚 敏之)
地域活性化プロジェクト「左京×学生縁ねっと」	3
みんなでつくる「左京朝カフェ」	3
【中 京 区】	(担当：深川 光耀)
中京マチつながる・ひろがる・うごきだす 中京クーチャーセンター “の設置	4
イチバンボシ（母子）ギフトプロジェクトの創出.....	4
【東 山 区】	(担当：加藤 ゆうこ)
まちづくり支援事業と地域をつなげるサポート.....	5
まちづくりカフェ事業に新たな参加を促す取り組み.....	5
【山 科 区】	(担当：佐藤 友一)
山科 “きずな” 支援事業における事前相談会の実施.....	6
こころの病についての紙芝居作成.....	6
【下 京 区】	(担当：天岡 昌代)
下京アフターアワーズ.....	7
『あってよかった町内会』	7
【南 区】	(担当：山本 一貴)
南区民ふれあいカフェ “みなみなみなみ”	8
地域防災力強化「体験型研修」事業.....	8

【右京区】	(担当：朝倉 眞一)	
	右陰地域の空き家活用と定住促進の取組をサポート.....	9
	自治会町内会加入促進に向けた、2学区の取組をサポート.....	9
【西京区】	(担当：田尾 純子)	
	地域力サポート講座.....	10
	ふらっと・西京.....	10
【西京区洛西支所】	(担当：吉田 泰基)	
	「洛西ニュータウンアクションプログラム」の策定.....	11
	「大原野」地域ブランド化の取組.....	11
【伏見区】	(担当：亀村 佳都)	
	伏見をさかんにざっくばらん.....	12
	向島ニュータウンまちづくりビジョン.....	12
【伏見区深草支所】	(担当：白水 育世)	
	『深草まるごとつながりネットワーク(第Ⅱ期)』の事業企画運営.....	13
	商店街活性化支援《深草竹とんぼでギネス世界記録挑戦》.....	13
【伏見区醍醐支所】	(担当：谷 亮治)	
	おとなだいご塾.....	14
	「私の第一歩」事業.....	14

北区こどものまち

【事業概要】まちづくりの未来を担う子ども達が、仮想のまちを舞台に、お店での仕事や銀行・ハローワークの運営などを体験することで、楽しみながらまちの仕組みを学ぶイベント「北区こどものまち」を開催しました。45名の子どもスタッフが会議を重ね創りだしたこどものまちは、200名を超える子ども達で賑わいました。おとなパートナー・チャイルドファシリテーターも設置し、子どもを支える大人（区内の小中学校やPTA、大学やNPOなど多様な機関）の連携も図りました。



【役割／関わり方】

子どもが主体的に取り組むための、仕組みづくりと多様な主体の連携を支援

- 子ども会議の進め方やおとなの関わり方など、事業実施に向けた仕組みづくり
- 小中学校やPTA、大学やNPOなど、子どもに関わる多様な関係者の連携促進
- こどものまちの通貨や区民証など、デザイン作業のサポート

学区まちづくりビジョン

【事業概要】地域コミュニティの活性化に向けて、北区内全学区（18学区）での作成を目指す「学区まちづくりビジョン」。学区の魅力や課題を、学区民が自ら気づき行動するきっかけづくりとして、学区民と区内の大学が連携し、取組案や将来像を描きました。今年度モデル的に実施した紫竹学区・待鳳学区では、ニュースレターやワークショップ、イベントなどを通じて、多くの人がビジョンに関わる機会づくりに取り組みました。



【役割／関わり方】

学区内の機運を高めるための、仕組みづくりと多様な主体の連携を支援

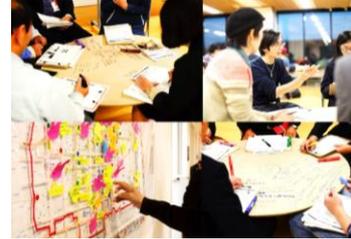
- 学区と大学が連携して取り組むための、課題整理と仕組みづくり
- 学生への講座やWSの運営補助など、対話の場づくりのサポート

【上京区】

上京区まちづくり円卓会議拡大会議 上京！MOW

【事業概要】

区基本計画の推進について幅広く意見交換を行う上京区まちづくり円卓会議（学区からの代表者やNPO、公募委員等で構成）を拡大し、区内でまちづくり活動を行っている団体等に参加いただき、活動内容の発表や意見交換等の取り組みを通じて、相互の交流を促し、まちづくり活動の点が線、線が面に広がることを目指しています。平成28年度は2回実施しました。



【役割／関わり方】

様々な活動団体、個人、地域が出会うための企画、運営、当日進行。

- 円卓会議委員、地域とNPO等がお互いを知るための企画づくり
- 協力団体との運営協働体制をサポート
- 参加者が心地よく参加できる場づくり（空間づくり）
- 意見交流で出たアイデアを生かすための事後のコーディネート

まちづくり活動パワーアップ講座による活動支援

【事業概要】

まちづくり活動に取り組む方等を対象に、活動が継続、発展するような情報を提供しています。平成28年度は「写真の撮り方」と「情報発信」の2回実施しました。単なる座学で終わるのではなく、参加者同士でも情報交換、新たな気づきを得て、団体同士がつながることで活動のパワーアップになることも目的としています。



【役割／関わり方】

活動団体のニーズや課題を補う企画、広報、当日進行等。

- 団体ニーズや課題の抽出とそれに合わせた企画づくり
- 団体同士の情報交換が行いやすいような場づくりと進行
- 講座を必要とすると思われる団体への参加の呼びかけ

【左京区】

地域活性化プロジェクト「左京×学生縁ねつと」

【事業概要】左京区では、学生のあふれるパワーを地域のまちづくり活動につなげるため、NPO 法人と社会福祉協議会と協働で、ボランティアしたい学生と、ボランティアに来て欲しい地域とを結びつける事業を運営しています。

大学内での説明会、フェイスブックやLINE等を活用した広報を通じて、多くの学生が地域のイベントや鞍馬火祭等の伝統行事、山間地域の雪かきなど、さまざまな場所で活躍してくれています。



【役割／関わり方】

複数の主体による協働事業の企画・運営

- 事業の企画運営と方向性に関するアドバイス
- 地域と学生とのマッチングとその仕組みづくり
- 地域における学生の受け入れ支援と活動サポート
- 参加学生同士のつながり作り

みんなでつくる「左京朝カフェ」

【事業概要】左京区では、区民主体のまちづくり活動を支援する取り組みとして、「左京朝カフェ」を開催しています。

左京のまちづくりに関心のある区民が気軽に集い、ワークショップ形式のざっくばらんな対話を通じて、新しい仲間やまちづくり活動のアイデアと出会います。28年度も、区民スタッフと協力して企画運営を行わない、参加者同士が“つながる”ことから生まれる多彩な活動とその盛り上がりをサポートしました。



【役割／関わり方】

区民によるまちづくり活動のコーディネート

- 事業の企画運営と方向性に関するアドバイス。
- 参加者の相互交流、継続的なつながり作りのサポート
- 参加者によるまちづくり活動のコーディネート
- 参加者からの相談対応

この事業を担当したアドバイザー 大塚 敏之

【中京区】

つながる・ひろがる・うごきだす “中京クーチャーセンター”の設置

【事業概要】 中京区では、今年度より中京クーチャーセンター（フューチャーセンター中京区版）を設置しました。

中京クーチャーセンターは、対話を通じて、中京の多様な人材と資源をつなぎ、区の未来（“区”+“未来”＝クーチャー）を一緒につくるアクションや主体を生み出す場です。

具体的には、①新しいネットワークの形成、②新しいアクションやアイデアの創出、③区との協働主体の発掘をアウトプットの3本柱としています。今年度は、中京クーチャーセンターのディレクターとして、下記のイチバンボシギフトプロジェクトを創出しました。



【役割／関わり方】

中京クーチャーセンターのディレクターとして、アクションの創出を支援

- 協力・連携することによって取組のプラスになる主体のマッチング
- クーチャーセッションでのファシリテート
- 実施に向けた課題整理と仕組みづくり

イチバンボシ(母子)ギフトプロジェクトの創出

【事業概要】 イチバンボシギフト（お野菜ギフトBOX）プロジェクトは、0歳児とその家族の誕生を祝し、農薬や化学肥料に頼らない農業で育てられたお野菜ギフトBOXをご家庭に届ける取組です。

このプロジェクトは、中京区役所だけでなく、社会的企業（(株)坂の途中）、リリース、京都ソーシャルイノベーション研究所など多様な主体との連携によって実現しました。その協議の場として上記の中京クーチャーセンターが活用されています。

2016年8月からスタートした結果、出生356名のうち148名からの申し込み（2017年1月18日時点）がありました。



【役割／関わり方】

中京区役所と社会的企業等との連携によるアクションの創出を支援

- 中京区役所と、社会的企業、京都ソーシャルイノベーション研究所等のマッチング
- 実施に向けた課題整理と仕組みづくり
- 話し合いの場のセッティングと、クーチャーセッションでのファシリテート

中京区担当アドバイザー 深川 光耀

まちづくり支援事業と地域をつなげるサポート

【事業概要】市民の自主的な活動の、特にスタートアップを応援する助成金事業(まちづくり支援事業)には、新規のグループも多数参加していますが、活動の継続や発展を目指すためには、地元の方々の理解や応援が欠かせません。まちづくり支援事業に応募してきた団体さん達に、地域とかかわる機会を紹介したり、区の事業やまちづくりカフェ等への参加を勧めることで、たくさんの方々に地元のネットワークを広げていただいています。



【役割／関わり方】

団体同士が直接顔を合わせて知り合えるような機会づくりのコーディネート

- 元学区から生まれた活動を無理なく広げていくために、他の学区で行っている誰でも参加可能な行事や、学区を越えた官民の催しなどに誘い、隣接する別の学区の組織や重なるテーマに取り組む区内外の団体を積極的に紹介しています。
- 「やりたい」から始まった活動が、当該地域の課題解決につながりそうな場合、福祉法人など公的な団体と協力して、地域が理解しやすいプログラムに展開するよう、一緒に考え助言しています。

まちづくりカフェ事業に新たな参加を促す取り組み

【事業概要】東山区のまちづくりカフェは、通常平日夜間の開催のため、育児や家事と重なり参加が難しいという声がありました。夜間に参加しづらい人、平日に参加しづらい人にも、まちについて語っていただこうと、土曜昼間の開催を試みました。実施に向けて多方面から協力や助言を仰ぎ、キッズスペースの設置や前回の内容の展示など、参加しやすい雰囲気を作りました。新たなテーマや出会いにつながり、今後もさまざまなライフスタイルの方が参加できる場になってほしいという意見が多く寄せられました。



【役割／関わり方】

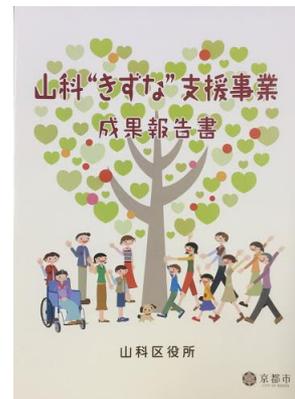
企画から実施まで、参加者の立場にたった運営のための事前サポート

- 子育て世代の親子に準備から参画してもらえるよう、区内の子育てサークルなどでキッズスペースづくりのアイデア募集ワークショップを開催し、実施運営に活かしました。こうした場を通して小さな課題の相談も多数あり、カフェの場でもテーマ提案していただくようサポートしました。
- 区地域力推進室だけでなく、子どもや親子に関わる保健センターや子ども支援センターなどに相談し、物品貸与や広報協力など連携を積み重ねました。

【山科区】

山科“きずな”支援事業における事前相談会の実施

【事業概要】平成24年から開始した「山科“きずな”支援事業」は、申請の前に区職員やまちづくりアドバイザーによる事前相談会を実施していましたが、出席は申請団体の希望しただけでした。そのため、事前相談会を経ずに提出された事業の中には、あと一步の工夫が足りないことで不採択となったり、審査委員からの質問への回答が不十分なものがありました。そのため、今年度の2次募集から、申請団体に事前相談会への参加を必須とし、事業内容や申請書記入に対するアドバイスの機会を設けました。



【役割／関わり方】

事前相談会の実施

- 区役所の職員とまちづくりアドバイザーとで申請書を見る視点を変えて、客観的なアドバイスができるように努めました。
- サポート講座や成果報告会など、関連する取組により、継続的な活動へつながる支援の工夫を並行して行ないました。

こころの病についての紙芝居作成

【事業概要】「こころの健康を考える会」は、精神障害を持つ人が地域で暮らせるように、サポーターの育成、障害についての知識の普及啓発等を目的に、関係機関で構成しているネットワークです。平成28年度は、より広く啓発をすすめるための方法を検討し、紙芝居を作成し地域に出向いて実演することになりました。初めて話を聞く方にもわかりやすいように精神障害の基本的な理解を進める内容とし、シナリオの作成、絵や読み上げ文章の作成などをネットワークに参加する各事業所の利用者や職員で分担しました。平成29年度から本格的に地域に出向いて実演する予定です。



【役割／関わり方】

紙芝居作成に至る検討のプロセスの補助や紙芝居作成の補助作業

- 最優先の目標を検討した結果「初心者向けの啓発手法の開発」を目指すこととし、具体的な作成物は紙芝居となりました。
- 紙芝居のシナリオ検討会を企画しました。
- 各作業所で作業を分担するために、シナリオをもとに、絵コンテを作成しました。
- 実演の試行実施をともに行い、より効果的な実演方法の模索に協力しています。

この事業を担当したアドバイザー 佐藤友一

【下京区】

下京アフターアワーズ

【事業概要】下京を深く知ってもらい、愛着を深めてもらうオープンな交流の場として開催しました。ゲストに下京区で活躍している旬な人材を招いて、その人の活動を知ること、自分の生き方に刺激を受け、参加者同士の情報交換や交流を通じて、まちづくりや起業へのアイデアを得てもらう場所です。



今年度は自分がやりたいことをテーマに据えて起業された女性 3 名をゲストに迎えた「下京ではたらくこと」と、京都を愛し、下京を愛し、生まれ育った地域を大切にしたいという男性 2 名をゲストに迎えた「地元をブランディングすること」の 2 回を開催しました。いずれの回も下京の旬なスポットを選んで開催し、たくさんの方に参加していただきました。

【役割／関わり方】

事業内容の決定、ゲストの選定、開催場所の選定、当日のプログラムの構成。

- 新規事業のため、事業主旨決定とテーマの設定段階から関わりました。
- テーマにふさわしいゲストの提案と打合せ、ゲストの決定まで関わりました。
- 当日のプログラム設定に関わる助言。
- 関係機関との調整

『あってよかった！町内会！』

【事業概要】下京区役所で取り組んできた地域コミュニティ活性化事業。地域の繋がりが希薄になる近年において、「顔の見える関係づくり」が大切であり、新しく来た人と古くから住んでいる人をつなぐための要となるのが町内会長さんであるという観点から、町内会長さんが新しく引越してこられた方や集合住宅にお住まいの方にも加入の呼びかけがしやすいように、わかりやすく解説したマニュアルを作成しました。



【役割／関わり方】

冊子作成のベースとなった下京区内の小学校PTAへの「町内会加入アンケート」の作成補助、区長懇談会でのワークショップの運営などを経て、冊子の内容確定の補助や編集の助言などを行いました。また、まちづくりアドバイザーの有志も編集作業に協力しました。

- 子育て世代、大学生への聞き取り（下京つながりフェスタにて）
- まちづくりアドバイザーミーティングでの意見交換
- 区役所担当者とのホワイトボードミーティング

この事業を担当したアドバイザー 天岡 昌代

【南区】

南区民ふれあいカフェ“みなみなみなみ”

【事業概要】 南区民ふれあいカフェ「みなみなみなみ」は、南区役所が平成28年度より開催する対話型交流事業です。南区のまちに関心のある人々が、集い、語り合い、つながる時間をつくることを目的とするもので、区民の主体的なまちづくりの推進を目指しています。

今年度は全3回実施しました。会場として、京都市健康増進センターや京都市南青少年活動センターのオープン・スペースを活用し、区内の空間資源の発掘・発信にもなったと考えています。



【役割／関わり方】

関わる人々の主体性を引き出しながら、空間・時間・情報媒体を設計する

- 新規立ち上げに際し、事業の全体像をつかみ、実施の見通しがつくように、目的設定から会場選定まで検討事項の整理・提案，類似事例の情報提供や調査の同行など
- 各回個別のプログラムや会場の設えの設計・提案，広報印刷物や当日資料等のデザイン案の作成，SNS等での情報発信方法への助言
- 今後の協働関係の構築や既存事業との連携に向けた，会場関係者や話題提供者のコーディネート，生活情報誌や地方紙のほか，高校放送部への情報提供と取材協力

地域防災力強化「体験型研修」事業

【事業概要】 南区では地域防災力の強化に向け，地域住民のみなさんと区役所，消防署及び学校等の施設管理者が協働で，避難所の開設・運営についての体験型研修を実施しています。学区単位で開催される総合防災訓練等と連携した取組として開催し，実際の避難所となる小学校の体育館等を会場に，運営協議会の立ち上げから食料配給等の班別活動まで体験します。



【役割／関わり方】

班別活動を支援する役を担いながら，研修に参加し活動を観察する

- 研修会の進行・運営補助，班別活動の活動課題等について班長への伝達・助言
- 活動課題の遂行に際し，班長・班員のアイデアや主体的な行動を重んじ，たとえばうまくいかなかったとしても，今後のために良い体験をしたと受けとめてもらえるような，見守り支援・観察
- 研修への参加・観察を通じた，事業の企画・運営への助言

【右京区】

宕陰地域の空き家活用と定住促進の取組をサポート

【事業概要】

宕陰学区では、これまでの地域活性化の取組を継続しながら、空き家の活用だけでなく集落景観、地域の風景を維持継承していくための取組を進めています。

まず空き家所有者と地域住民全体に向けた住まいの維持継承を呼びかけるリーフレットと、定住促進に向けたPRのリーフレットを作成しました。そして空き家所有者、地域住民双方に向けた「住まいの今後の維持管理」についてのアンケートを行いました。空き家を生み出さない、住まいを大切に、次世代に受け渡していく取組に育てていければと思います。



【役割／関わり方】

地域にふさわしい空き家活用の企画立案、冊子やアンケートの作成をサポート

- これまでの地域活性化の取組に沿った空き家活用の企画立案、進行アドバイス。
- 事業企画の立案、準備の手配、スケジュール管理など。
- 空き家所有者向けアンケートと地域住民向けアンケートの作成・集計。
- 地域に配布するリーフレット、定住促進のためのリーフレットの企画・制作。

自治会町内会加入促進に向けた、2学区の取組をサポート

【事業概要】

右京区では、平成25年度から自治会・町内会の活性化に向けた取組を進めてきましたが、取組の中から得られたアイデアを実践する、モデル学区での取組（西院第二学区・葛野学区）を進めました。

モデル学区では、イベント時の自治会加入相談ブースの設置、若い子育て世代へのアンケート調査、統計資料を活用した学区の各町内の現状把握、今後に向けてアイデアを出し合うワークショップを開催しました。次年度は、学区の中でさらに具体的な取組を進めていく予定です。



【役割／関わり方】

学区の活動に深く関わり、自治会加入促進に向けた企画立案、実施に向けたサポート

- 学区の中で活動を進めるにあたっての企画立案、運営面でのアドバイス。
- 学区の現状把握に向けた統計資料の整理、他地域の取組をまとめた事例集の作成。
- ワークショップの企画立案や準備、当日のファシリテーション。

この事業を担当したアドバイザー 朝倉 眞一

【西京区】

地域力サポート講座

【事業概要】西京区では、平成28年度、「地域力」を活かしたまちづくりを進めていくため、地域力サポート事業補助金の申請団体をはじめ、自主的・自発的なまちづくり活動をされている方やそのような活動に興味がある方を対象に、「広報力」「仲間づくり&つながり」「活動とお金」のテーマで3回の講座を開催しました。



【役割／関わり方】

事業の企画・運営の支援

- 事業全体についてのアドバイスや情報提供を行いました。
- 講師のコーディネートを行いました。
- 講座当日の進行など、運営補助を行いました。

ふらっと・西京

【事業概要】西京のまちづくりに興味のある方々の出会い・交流・語り合い・学び合いの場「ふらっと・西京」は、「ふらっとトーク」の進め方や語り合った内容を全体で共有するなどプログラムの改善を行いました。また、「洛西でもしてほしい」「子育てママも参加できる平日昼間にしてほしい」という声に応えて、洛西支所で1回開催、番外編として平日昼間に開催しました。



【役割／関わり方】

事業の企画・運営の支援

- 事業の企画・運営に対するアドバイスを行いました。
- 当日の司会・進行を行いました。
- 成果や課題を分析し、今後の展開について提案しました。

「洛西ニュータウンアクションプログラム」の策定

【事業概要】人口がピーク時より3割以上減少し、少子高齢化が進行している洛西ニュータウンの再生・活性化を図るため、アクションプログラムが策定されました。検討会のもと、ツーリズム、ソーシャル・ワーキング、施設、子育て支援、高齢者、住まい、情報発信・魅力向上の7つのワーキンググループが設置され、来年度から4年間に実施する具体的な取組が検討されました。これまでのベッドタウンとしての魅力だけでなく、訪れる人にとっても楽しめるまちを目指します。



【役割／関わり方】

ワーキング全体の運営サポート及びツーリズムワーキングのコーディネート

- ワーキング全体の運営サポート
- ツーリズムワーキングの企画及び当日の進行
- サブセンター関連アンケートの調査設計・集計・分析
- プレイパーク社会実験の企画・運営サポート（西京ふれあいまつり）

「大原野」地域ブランド化の取組

【事業概要】「大原野」地域ブランド化の取組がはじまって4年目を迎えました。今年度は、例年の「フジバカマ祭り」のほかに、右京区水尾や伏見区深草などで活動する団体を招待し、大原野神社で「第1回 京都 藤袴（フジバカマ）サミット in 大原野」を開催しました。また、昨年度から企画されていた「マルシェ大原野」が7月にオープンし、大原野の新鮮野菜や加工品を買い求めるお客さんで賑わっています。



【役割／関わり方】

プロジェクトのトータルサポート

- マルシェ大原野開設に向けた企画及び運営サポート
- かかしチーム活動（小学校や保育園でのかかし製作）の運営サポート
- むらさきチーム活動（フジバカマ祭り・フジバカマサミット）の運営サポート
- たけのこチーム活動の企画及び運営サポート・コーディネート
- ごまチーム活動の先進地視察の企画及び事業者連携のコーディネート
- ひまわり開花イベント及び風土・food 大原野の運営サポート

伏見をさかなにざっくばらん

【事業概要】

平成 28 年度「伏見をさかなにざっくばらん」は 5 期目を迎え、歴史、環境、多世代交流などをテーマに 14 のチームを作りました。毎月一度の定例会終了後、「リーダー&有志会議」によってチーム間の情報交換や連携を進めたり、広報の一環として各チーム活動を毎月ラジオで発信したりするほか、各チームは伏見でのまちづくり活動を実践し、3 月には一年間の活動を伝える「ふしざく祭り」を開催しています。



【役割／関わり方】

「伏見をさかなにざっくばらん」のプログラムづくりやチーム活動支援

- 事業企画・運営。
- 初参加者同士が自己紹介や興味のあることを気軽に話せる場づくりや新規チームの立ち上げ・活動支援。
- ラジオでのチーム活動紹介や事業 PR。

向島ニュータウンまちづくりビジョン

【事業概要】

入居開始から 40 年経った向島ニュータウンでは、建物の老朽化や人口減少・少子高齢化が進みつつある中、地域住民・団体、事業者、行政等による検討会や住まい、子育て、防災・防犯などのテーマ部会を通じて地域課題や地域の強みを見直し、「誰もが生き生きと暮らせる向島ニュータウン～暮らし心地を誇れる『多文化・多世代共生』のまち～」を目指すビジョンを策定しました。



【役割／関わり方】

住民意見交換会やテーマ部会での企画運営支援

- 「向島ニュータウンのこれからを話し合う集い」など住民意見交換会の企画支援。
- 住民意見交換会当日のテーブル進行。
- 歴史文化部会での活動支援。
- まちづくりビジョン通信にて住民インタビュー記事を作成。

【伏見区深草支所】

『深草まるごとつながりネットワーク(第Ⅱ期)』の事業企画運営

【事業概要】H27年9月より実施の深〇ねっと。H28年度は『新たな‘印象’をつくろう!』をキャッチコピーに、深草地域大岩山にある大岩神社周辺の環境整備活動を行いました。5月から現状観察・清掃を通じたフィールドワーク、大岩神社にある鳥居の寄進者で日本画家・堂本印象を知ろうと企画した学習会を経て、9月よりいざ大岩山へ。「建物再生」「土木」「伐採・倒木撤去」「魅力発信」「おもてなし」の5チームで整備活動実施。結果、大岩神社付近の休憩所整備・倒木撤去等綺麗になりました。また大岩山の魅力発信や10年間の整備活動の記録を兼ね、関係者へのインタビューをまとめた冊子を発行しました。



【役割／関わり方】

参加者の主体性を大事にするため、発案を企画に反映するなど企画立案を工夫。

- 事業の企画立案運営
- 各チーム活動のマネジメント
- 冊子発行に伴う企画編集・インタビュー
- Facebook 上での活動情報発信

商店街活性化支援 《深草竹とんぼでギネス世界記録挑戦》

【事業概要】『深草100円商店街』が今年度10回目を迎える記念に、深草商店街個店主や地域の有志で実行委員会を立ち上げ、1月より会合や作業を重ねました。11/23当日、京都市長も駆けつけ、見事1回で631人のギネス世界記録を更新！1ヶ月前まで参加者が集まらない・竹とんぼの数も足りない等苦戦していましたが、地域の各種団体・深草小学校・工学院高校・龍大・おやじの会・地域メディア等が、イベント周知や当日運営に協力くださり、多くの方の力添えにより達成できました。



また同日、イベントを盛り上げようと『深草 Music Scene 2016』も開催。『京街道ジャズライン』（京阪協賛）と連携して、多くの集客を得ることができました。

【役割／関わり方】

深草担当まちアド2人で関与。実施者の主体性を促進しつつ、事業運営をサポート

- 事業実施までのマネジメント
- 「竹とんぼづくりWS」や「地域向け説明会」の企画・ファシリテート
- 情報収集、情報発信
- 「深草 Music Scene 2016」の企画運営・関係者との連絡調整

この事業を担当したアドバイザー 白水 育世

【伏見区醍醐支所】

おとなだigo塾

【事業概要】「おとなだigo塾」は、昨年度に引き続き、醍醐地域でまちづくり活動に取り組む人材を育成するため、専門家や、実際に活動に取り組んでおられる市民団体による講座を行い、企画づくりや仲間づくりを目指す事業です。

今年度は、東信史氏（まちとしごと総合研究所）と谷亮治（社会学者、京都市まちづくりアドバイザー）をメイン講師として位置づけ、受講生に対する一貫したケアを行いました。



【役割／関わり方】

市民が、自身の望むまちづくり活動を実現できるような段階的な援助プロセスの提案

- 「おとなだigo塾」で知識提供するだけにとどまらず、その後の「仲間を募る」、「小さな事業を企画、実施してみる」というように、市民が自身の望むまちづくり活動を段階的に実現していけるよう、総合的な援助プロセスの提案を行いました。
- 講座の講師として、受講生が、まちづくりに関する専門的な理解を深め、活動できるよう促す、情報提供を行いました。

「私の第一歩」事業

【事業概要】醍醐地域の公共施設「京都市醍醐いきいき市民活動センター」では、地域の市民活動を活性化させるための諸事業を行っています。そのひとつが、「私の第一歩」事業です。

「おとなだigo塾」修了生が、自らの望むまちづくり活動を実現していくためには、その初動期の援助が重要です。そこで、その初動期を醍醐いきいき市民活動センターの「私の第一歩」事業と位置づけて、市民が自主的に動けるよう人的、資金的な面から援助しています。すでに複数の「新たな第一歩」が醍醐のまちに芽生えています。



【役割／関わり方】

醍醐いきいき市民活動センター「私の第一歩」事業の補助

- おとなだigo塾修了生と、醍醐いきいき市民活動センターとともに、市民の「第一歩」となる事業の企画、運営を補助しました。
- 市民活動活性化事業の実施に必要な助言やネットワークを提供しました。

この事業を担当したアドバイザー 谷 亮治